



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月29日

上場会社名 堀田丸正株式会社

上場取引所 東

コード番号 8105 URL <http://www.pearly-marusho.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 雅美

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 矢部 和秀

TEL 03-3548-8139

定時株主総会開催予定日 2020年6月25日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	5,547	16.8	207		206		144	
2019年3月期	6,665	13.5	437		419		465	

(注) 包括利益 2020年3月期 163百万円 (%) 2019年3月期 489百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	2.58		3.5	3.8	3.7
2019年3月期	8.28		10.4	6.9	6.6

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	5,107	4,077	79.8	72.50
2019年3月期	5,722	4,241	74.1	75.40

(参考) 自己資本 2020年3月期 4,077百万円 2019年3月期 4,241百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	105	53	2	2,350
2019年3月期	134	228	24	2,409

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		0.00	0.00			
2020年3月期		0.00		0.00	0.00			
2021年3月期(予想)								

2021年3月期の配当予想につきましては、2021年3月期の業績予想が可能となった時点において、速やかに開示いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期									

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を合理的に算定することが困難であるため、未定としております。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	59,640,348 株	2019年3月期	59,640,348 株
期末自己株式数	2020年3月期	3,395,996 株	2019年3月期	3,395,825 株
期中平均株式数	2020年3月期	56,244,419 株	2019年3月期	56,244,528 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	4,645	14.1	208		203		139	
2019年3月期	5,408	14.9	475		454		491	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	2.48	
2019年3月期	8.73	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	4,842	3,965	81.9	70.50
2019年3月期	5,432	4,116	75.8	73.19

(参考) 自己資本 2020年3月期 3,965百万円 2019年3月期 4,116百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、現政権下での経済対策及び日銀による金融政策を背景に、景気は一部に弱さが見られるも、緩やかな回復基調のうちに推移いたしました。しかしながら、米中貿易摩擦による海外経済の下振れや不確実性の高まり、また金融資本市場の変動の影響、更には相次ぐ自然災害に加えて、この度の新型コロナウイルス感染拡大の収束が見えず、先行きの不透明感が一層高まりました。

このような事業環境のもと、当社グループは、コア事業である意匠燃糸事業へ経営資源を集中すると同時に、洋装事業の改善をはかるため、粗利管理の徹底を行うと共に、販売員契約の見直し等による販管費の大幅削減に取り組みました。加えて、売上減少に歯止めをかけるために、新規取引先の積極的な開拓、新規催事等への参加促進を行う一方、在庫効率向上のために取引先納品形態の見直しや在庫の適正化など、様々な取り組みを行い、第3四半期累計期間までは順調に推移しておりましたが、第4四半期における暖冬による衣料品等の消費低迷に加え、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、得意先において営業縮小や臨時休業、催事販売会の中止など和装事業及び洋装事業は、多大な影響を受けることとなりました。加えて、当社の販売先において、昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、業績が悪化し、債権の回収が困難となる可能性が生じたため、当該債権に対する貸倒引当金繰入額23百万円を販売費及び一般管理費に計上いたしました。

これらの結果、売上高55億47百万円（前年同期比16.8%減）、営業損失は2億7百万円（前年同期は営業損失4億37百万円）、経常損失は2億6百万円（前年同期は経常損失4億19百万円）、また、当社が出資を行っていた協同組合の清算に伴い残余財産の分配が行われ、特別利益を計上したことにより親会社株主に帰属する当期純損失は1億44百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失4億65百万円）となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。

(和装事業)

和装事業は、リサイクル企画催事が新たな販売機会を創出いたしました。百貨店の閉鎖や消費税増税後の消費低迷、連結子会社（株）吉利における大手量販店との取引見直しに加え、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、催事販売会の中止や百貨店の営業時間短縮・臨時休業などの影響を受け大幅な売上減少となりました。

この結果、売上高11億77百万円（前年同期比20.6%減）、営業損失は54百万円（前年同期は営業利益15百万円）となりました。

(寝装事業)

寝装事業は、量販店・専門店取引において消費税導入後の消費低迷を受け、マットレスや寝装品の売上が減少したものの、東北地区におけるギフト事業が順調に推移したことで、売上は微減となりました。

この結果、売上高5億37百万円（前年同期比6.2%減）、営業利益は28百万円（前年同期比18.5%減）となりました。

(洋装事業)

馬里邑事業は、百貨店既存取引先の売上は順調に推移いたしました。百貨店の店舗閉鎖や消費税増税後の消費低迷で売上は減少いたしました。

アパレル事業は、西日本の百貨店における人材投入型の催事事業が堅調に推移いたしました。新型コロナウイルスの感染拡大により百貨店催事が縮小や中止となり売上減少となりました。

九州を拠点とする丸福事業は、ホームファッション事業が堅調に推移いたしました。婦人洋品事業は暖冬による衣料品等の消費低迷に加え、新型コロナウイルスの影響を受け百貨店・専門店卸が悪化、またベビー・子供事業も大手量販店からの急激な受注減の影響で売上減少となりました。

この結果、売上高20億27百万円（前年同期比18.4%減）、営業損失は26百万円（前年同期は営業損失4億11百万円）となりました。

(意匠燃糸事業)

意匠燃糸事業は、国内事業が中国への輸出拡大により増加いたしました。海外事業が中国経済の成長鈍化及び米中貿易摩擦などの影響を受け、中国内販向けが受注減となりました。また、OEM事業は国内アパレル各社からの大幅な受注減により、売上減少となりました。

この結果、売上高18億3百万円（前年同期比15.1%減）、営業利益は99百万円（前年同期比33.2%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計は51億7百万円で前連結会計年度末と比べ6億14百万円減少しております。

この主な要因は、次のとおりであります。

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は、48億53百万円（前連結会計年度末は54億42百万円）となり、5億89百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金58百万円、受取手形及び売掛金4億32百万円、電子記録債権42百万円、商品及び製品54百万円が減少したことによるものであります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は、2億54百万円（前連結会計年度末は2億79百万円）となり、24百万円減少いたしました。これは主に、無形固定資産「その他」が11百万円増加し、投資その他の資産「その他」17百万円、投資有価証券16百万円が減少したことによるものであります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は、9億84百万円（前連結会計年度末は14億30百万円）となり、4億45百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金2億45百万円、電子記録債務99百万円、その他65百万円が減少したことによるものであります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債は、45百万円（前連結会計年度末は50百万円）となり、5百万円減少いたしました。これは主に、長期繰延税金負債が5百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、40億77百万円（前連結会計年度末は42億41百万円）となり、1億63百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純損失計上による利益剰余金1億44百万円の減少によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、資金という）は、売上債権の減少、たな卸資産の減少等の増加要因はありましたが、税金等調整前当期純損失1億33百万円（前年同期は税金等調整前当期純損失4億36百万円）、仕入債務の減少等により、前連結会計年度に比べ58百万円減少し23億50百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、減少した資金は、1億5百万円（前年同期は1億34百万円の増加）となりました。

これは主に、売上債権の減少4億72百万円等の増加要因はありましたが、税金等調整前当期純損失1億33百万円、仕入債務の減少3億40百万円等の支出要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、増加した資金は、53百万円（前年同期は2億28百万円の増加）となりました。

これは主に、協同組合清算による収入73百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は、2百万円（前年同期は24百万円の減少）となりました。

これは主に、ファイナンス・リース債務の返済2百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

4月7日に発令された7都道府県に対する緊急事態宣言に続き、その後全国を対象とした緊急事態宣言が発令され、新型コロナウイルスの感染防止対策により、経済活動や個人消費に大きく影響がでる状況が続いております。

当社グループのお取引先である百貨店、量販店、専門店も感染拡大防止のため営業時間の短縮や臨時休業を余儀なくされ、売上高も大きく減少が見込まれております。当社グループは、お取引先への卸販売が主業であり売上高が大きく減少することが想定されるとともに今後の先行きが見通せない状況となっております。

以上のことから、2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を合理的に算定することが困難なため、現時点では未定とさせていただきます。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,409,118	2,350,477
受取手形及び売掛金	1,375,554	942,683
電子記録債権	220,731	178,569
商品及び製品	1,347,595	1,292,754
仕掛品	9,954	8,525
原材料及び貯蔵品	35,895	35,417
その他	56,467	80,815
貸倒引当金	△12,369	△36,151
流動資産合計	5,442,947	4,853,092
固定資産		
有形固定資産		
建物	68,688	68,138
減価償却累計額	△61,955	△61,695
建物(純額)	6,732	6,443
機械装置及び運搬具	8,305	6,105
減価償却累計額	△8,060	△4,633
機械装置及び運搬具(純額)	244	1,472
工具、器具及び備品	25,248	26,494
減価償却累計額	△10,240	△15,566
工具、器具及び備品(純額)	15,007	10,928
土地	83,311	83,311
リース資産	3,714	-
減価償却累計額	△3,157	-
リース資産(純額)	557	-
その他	11,500	11,500
減価償却累計額	△3,114	△7,906
その他(純額)	8,385	3,593
有形固定資産合計	114,238	105,748
無形固定資産		
リース資産	1,797	-
その他	17,218	29,157
無形固定資産合計	19,015	29,157
投資その他の資産		
投資有価証券	59,005	42,378
その他	129,098	111,122
貸倒引当金	△42,152	△33,842
投資その他の資産合計	145,951	119,657
固定資産合計	279,205	254,563
資産合計	5,722,152	5,107,656

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	804,608	558,781
電子記録債務	313,392	214,184
リース債務	2,538	-
未払法人税等	42,062	23,337
賞与引当金	28,200	25,200
返品調整引当金	38,193	26,790
その他	201,618	136,397
流動負債合計	1,430,613	984,692
固定負債		
繰延税金負債	8,073	2,717
資産除去債務	11,500	11,500
その他	30,940	30,940
固定負債合計	50,513	45,157
負債合計	1,481,127	1,029,850
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,937,570	2,937,570
資本剰余金	1,236,152	1,236,152
利益剰余金	432,293	287,405
自己株式	△389,571	△389,586
株主資本合計	4,216,444	4,071,541
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,294	6,157
為替換算調整勘定	6,286	106
その他の包括利益累計額合計	24,580	6,264
純資産合計	4,241,025	4,077,806
負債純資産合計	5,722,152	5,107,656

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	6,665,455	5,547,476
売上原価	5,063,325	3,851,264
売上総利益	1,602,129	1,696,211
販売費及び一般管理費		
販売手数料	242,905	180,026
賃借料	161,377	147,386
運賃及び荷造費	215,449	205,290
広告宣伝費	38,215	33,203
展示費	38,995	31,155
貸倒引当金繰入額	△1,080	28,958
役員報酬	31,400	31,700
給料及び手当	763,259	739,648
賞与引当金繰入額	28,200	25,200
福利厚生費	161,757	154,954
旅費及び交通費	88,617	74,176
減価償却費	18,395	20,542
その他	252,409	231,122
販売費及び一般管理費合計	2,039,903	1,903,365
営業損失(△)	△437,774	△207,153
営業外収益		
受取利息	1,333	130
受取賃貸料	8,400	-
受取配当金	1,207	1,290
為替差益	3,056	2,477
還付金収入	4,293	-
受取立退料	6,212	-
敷金保証金返金差額	-	1,104
その他	4,117	1,919
営業外収益合計	28,620	6,922
営業外費用		
支払利息	1,791	984
賃貸費用	2,770	-
株主優待関連費用	3,645	4,592
その他	1,997	667
営業外費用合計	10,204	6,244
経常損失(△)	△419,358	△206,475

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	13,415	-
協同組合清算益	-	73,387
特別利益合計	13,415	73,387
特別損失		
ブランド事業撤退損失	30,953	-
特別損失合計	30,953	-
税金等調整前当期純損失(△)	△436,896	△133,088
法人税、住民税及び事業税	19,637	11,799
法人税等調整額	9,295	-
法人税等合計	28,933	11,799
当期純損失(△)	△465,830	△144,887
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△465,830	△144,887

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純損失(△)	△465,830	△144,887
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,283	△12,136
為替換算調整勘定	△9,403	△6,179
その他の包括利益合計	△23,687	△18,315
包括利益	△489,517	△163,203
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△489,517	△163,203

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,937,570	1,236,152	917,809	△389,570	4,701,960
当期変動額					
剰余金の配当			△19,685		△19,685
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△465,830		△465,830
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△485,515	△0	△485,516
当期末残高	2,937,570	1,236,152	432,293	△389,571	4,216,444

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	32,577	15,690	48,267	4,750,228
当期変動額				
剰余金の配当				△19,685
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△465,830
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△14,283	△9,403	△23,687	△23,687
当期変動額合計	△14,283	△9,403	△23,687	△509,203
当期末残高	18,294	6,286	24,580	4,241,025

当連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,937,570	1,236,152	432,293	△389,571	4,216,444
当期変動額					
剰余金の配当			-		-
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△144,887		△144,887
自己株式の取得				△15	△15
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△144,887	△15	△144,903
当期末残高	2,937,570	1,236,152	287,405	△389,586	4,071,541

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	18,294	6,286	24,580	4,241,025
当期変動額				
剰余金の配当				-
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△144,887
自己株式の取得				△15
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△12,136	△6,179	△18,315	△18,315
当期変動額合計	△12,136	△6,179	△18,315	△163,218
当期末残高	6,157	106	6,264	4,077,806

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△436,896	△133,088
減価償却費	20,028	20,542
為替差損益 (△は益)	607	△276
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,401	15,473
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,200	△3,000
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△2,521	△11,403
受取利息及び受取配当金	△2,540	△1,420
支払利息	1,791	984
ブランド事業撤退損失	30,953	-
固定資産売却損益 (△は益)	△13,415	-
協同組合清算益	-	△73,387
売上債権の増減額 (△は増加)	123,352	472,125
たな卸資産の増減額 (△は増加)	504,872	52,901
仕入債務の増減額 (△は減少)	△127,170	△340,821
未払又は未収消費税等の増減額	86,753	△71,401
長期未払金の増減額 (△は減少)	△180	-
その他	△39,224	△3,719
小計	146,207	△76,491
利息及び配当金の受取額	2,540	1,420
利息の支払額	△2,011	△984
法人税等の支払額	△17,738	△29,572
法人税等の還付額	5,899	448
営業活動によるキャッシュ・フロー	134,899	△105,179
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△19,711	△3,750
有形固定資産の売却による収入	255,008	-
無形固定資産の取得による支出	△6,526	△17,747
投資有価証券の取得による支出	△843	△865
貸付けによる支出	△1,000,000	-
貸付金の回収による収入	1,000,042	-
敷金及び保証金の差入による支出	△4,317	△90
敷金及び保証金の回収による収入	4,412	2,134
協同組合清算による収入	-	73,387
投資活動によるキャッシュ・フロー	228,063	53,068
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△4,548	△2,538
自己株式の取得による支出	△0	△15
配当金の支払額	△20,153	△33
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,702	△2,587
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,101	△3,941
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	332,158	△58,640
現金及び現金同等物の期首残高	2,076,959	2,409,118
現金及び現金同等物の期末残高	2,409,118	2,350,477

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱い商品別に事業部を置き、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは事業部を基礎とした取り扱い商品別のセグメントから構成された「和装事業」「寝装事業」「洋装事業」「意匠燃糸事業」の4つを報告セグメントとしております。

「和装事業」は、留袖、訪問着、振袖、袋帯等の和装品と、宝石・貴金属等の指輪、ネックレス等の宝飾品、帯揚げ、帯、半衿、草履、着付小物等の和装小物品を卸売販売しております。「寝装事業」は、羽毛、羊毛ふとん、毛布、タオルケット等の寝装品と葬祭等のギフト商品を卸売販売しております。「洋装事業」は、ブラウス、ニット、スカート、パンツ、ワンピース、スーツ等の婦人洋品とベビー・子供服等を卸売販売しております。「意匠燃糸事業」は、リングヤーン、シャギーヤーン、ポーラヤーン、特殊紡績糸と横ニット等を製造卸売販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自2018年4月1日 至2019年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	連結財務諸表 計上額 (注4)
	和装事業	寝装事業	洋装事業	意匠燃糸事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	1,483,208	573,502	2,483,829	2,124,914	6,665,455	-	6,665,455
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	1,483,208	573,502	2,483,829	2,124,914	6,665,455	-	6,665,455
セグメント利益又はセグメント損失(△)	15,743	35,477	△411,568	149,543	△210,803	△226,970	△437,774
セグメント資産	902,413	181,577	1,214,788	966,632	3,265,412	2,456,740	5,722,152
その他の項目							
減価償却費	4,293	963	7,643	667	13,568	4,827	18,395
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	11,500	2,750	518	1,299	16,067	21,671	37,738

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△226,970千円には、セグメント間取引消去37,416千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△264,387千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。
2. セグメント資産の調整額2,456,740千円には、セグメント間債権の相殺消去△468,935千円、各報告セグメントに配分していない本社資産2,932,400千円及びたな卸資産の調整額△6,724千円が含まれております。
3. 減価償却費並びに有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各報告セグメントに配分していない本社資産であります。
4. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額	連結財務諸表 計上額 (注4)
	和装事業	寝装事業	洋装事業	意匠燃系事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	1,177,916	537,719	2,027,926	1,803,913	5,547,476	-	5,547,476
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	8,686	-	8,686	△8,686	-
計	1,177,916	537,719	2,036,612	1,803,913	5,556,162	△8,686	5,547,476
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△54,526	28,909	△26,672	99,854	47,564	△254,717	△207,153
セグメント資産	760,449	149,146	904,842	895,949	2,710,387	2,397,269	5,107,656
その他の項目							
減価償却費	6,037	902	3,201	811	10,953	9,589	20,542
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,300	-	280	1,800	3,380	18,117	21,497

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△254,717千円には、セグメント間取引消去30,496千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△285,213千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。
2. セグメント資産の調整額2,397,269千円には、セグメント間債権の相殺消去△496,712千円、各報告セグメントに配分していない本社資産2,905,267千円及びたな卸資産の調整額△11,286千円が含まれております。
3. 減価償却費並びに有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各報告セグメントに配分していない本社資産であります。
4. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自2018年4月1日 至2019年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国	合計
5,831,514	833,940	6,665,455

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

主要な顧客に関する情報は、単一の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国	合計
4,817,066	730,409	5,547,476

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

主要な顧客に関する情報は、単一の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	75円40銭	72円50銭
1株当たり当期純損失(△)	△8円28銭	△2円58銭

(注) 1. 前連結会計年度及び当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△465,830	△144,887
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純 損失(△)(千円)	△465,830	△144,887
期中平均株式数(株)	56,244,528	56,244,419

(重要な後発事象)

該当事項はありません。